



OJIYA CITY GUIDE

小千谷市市勢要覧



小千谷市 市勢要覧
平成 31 年 2 月発行

発行・企画 小千谷市

〒947-8501 新潟県小千谷市城内 2-7-5

TEL 0258-83-3511

URL www.city.ojiya.niigata.jp

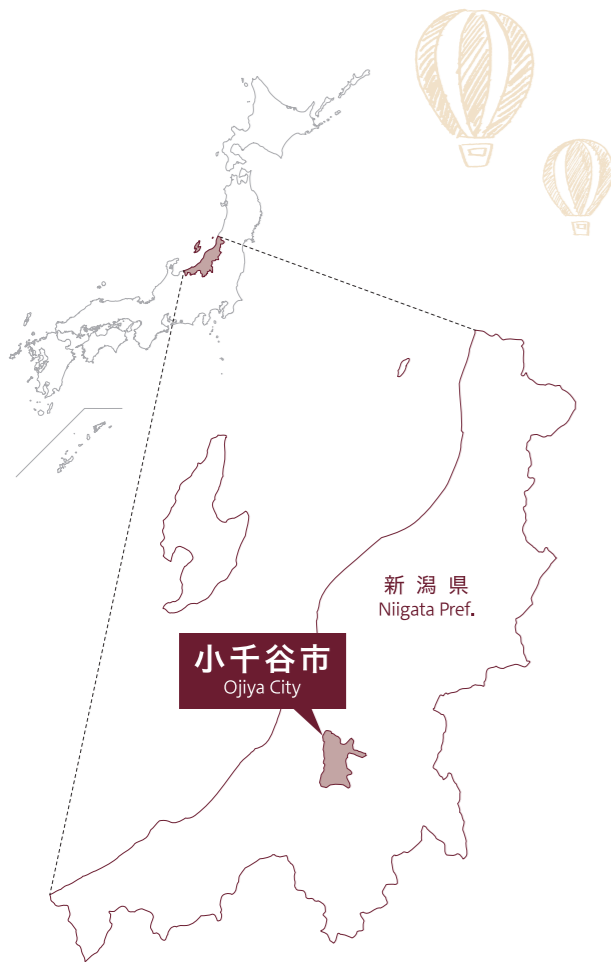
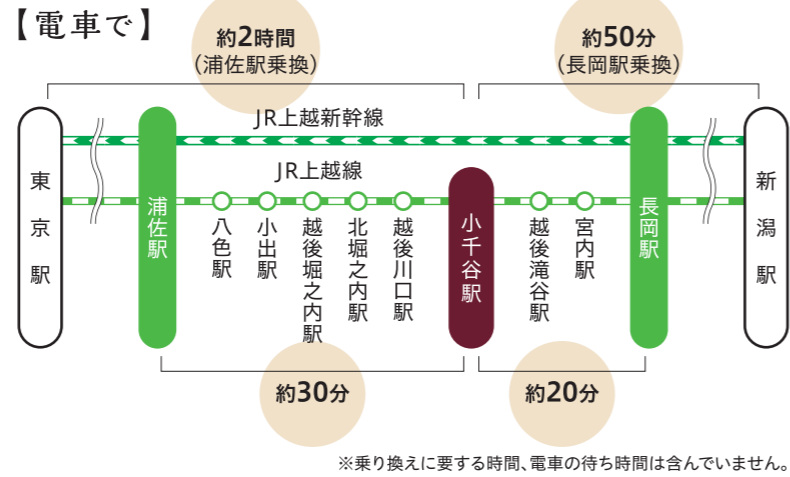
E-mail info@city.ojiya.niigata.jp

企画・制作 株式会社第一印刷所

おぢや 小千谷市はここです

新潟県のほぼ中央、日本一の大河・信濃川により形成されたまち「小千谷」。冬の豪雪とその雪解け水がもたらす美しい自然や田園のなかで、小千谷特有の文化や工芸品を育み、多彩な伝統産業が息づいています。

The city of Ojiya is situated in more or less the center of Niigata Prefecture, and was formed by the Japan's longest river—Shinano-gawa. The beautiful natural environment and farmland that owes its existence to heavy winter snowfalls and their subsequent snowmelt have led to culture and crafts that are unique to Ojiya, and a variety of traditional industries survive.



【おぢやイメージキャラクター】
よし太くん
Ojiya city mascot : Yoshita-kun

「牛の角突き」の角突き牛がモチーフで、勝負を仕切るときに掛け声「ヨシター」が名前の由来。「よし太」は方言で、標準語では「よくやった」「よくできた」にあたります。



【市花】
すいせん
City flower : Daffodil

すいせんは、雪消えとともに芽生え、春を告げる花です。また、冬の寒さに負けない生命力の強い花として、多くの家庭で栽培され、市民に親しまれています。



発刊によせて

小千谷市長
大塚 昇一
Mayor of Ojiya
Shoichi Otsuka

みなさんは「小千谷」と聞いて、何を思い浮かべますか。
「泳ぐ宝石錦鯉」「ユネスコ無形文化遺産小千谷縮」「世界最大級の花火四尺玉」「へぎそば」「中越地震」。中には食べ物の「おぢや」を思い浮かべた方や、何も思いつかず読み方すらわからない方もいらっしゃるかもしれません。

小千谷市は、日本一の大河「信濃川」による河岸段丘が特徴的な田園都市です。雪深い地域でもあり、信濃川や豪雪の恩恵である豊かな水資源は、魚沼産コシヒカリや錦鯉、小千谷縮など、自然の恵みを生かした特産品を生み出しました。近年、錦鯉は日本を代表する和のテイストとして世界へ輸出されており、クールジャパンの一翼を担っています。また、雪は我慢強く、勤勉な人間性を培い、その職人気質は精密機械や電子部品産業への技術力として生かされ、世界に誇る当市の基幹産業に発展しています。

平成16年10月に発生した新潟県中越地震では大きな被害に見舞われましたが、現在は復旧・復興を成し遂げ、その経験と教訓を全国に発信しています。

この市勢要覧をととして、「小千谷」の名前や読み方だけでも記憶にとどめ、当市に興味を持っていただければ幸いです。

【市の魚】 錦鯉

Official city fish: Nishikigoi

中越地震からの復興の象徴として、平成26年10月に制定。優雅に力強く泳ぐ錦鯉の姿に、さらなる復興と飛躍への思いが託されています。



【市章】 City emblem

雪国にちなみ外郭を雪の結晶で表わし、中央に「小」の字を図案化し、円でまとめてあります。克雪都市・小千谷市が市民の和と協調により大きく発展することを象徴しています。



目次

- おぢや宝じまん 04
- 錦鯉／牛の角突き／片貝花火
おぢや風船一揆／からくり万灯
小千谷縮／へぎそば 07
- おぢやの四季彩 08
- おぢや施設ガイド 08
- 小千谷市の将来像 09
- 人を育み文化の香るまちづくり 10
- 子育てにやさしく
健康長寿で支えあうまちづくり 11
- 創造性と活力あふれる
産業のまちづくり 12
- 魅力ある都市空間創出で
暮らしやすいまちづくり 13
- 自然を活かした
調和と安心のまちづくり 14
- ふれあい、にぎわい、
暮らし続けたいまちづくり 15
- おぢやに残る史跡 16
- おぢやのあゆみ 17
- 統計データ 18

中越地震を乗り越えて Overcoming the Chuetsu earthquake

平成16年10月23日、突然の大地震が小千谷市をはじめとする新潟県中越地域を襲いました。最大震度7を記録したこの中越地震によって多くの命が犠牲となり、人々の営みやふるさとの引き裂かれてしまいました。

あの日から、市民はよりよい未来を信じて、復興の道を精一杯歩んできました。震災の経験を次世代へ継承していくとともに、復興の中で見つめ直した地域の宝や生まれた絆を大切に、市民一人ひとりが輝き、その輝きが持続するまちを目指して、これからも進みます。

On October 23, 2004, a massive earthquake with an intensity as high as 7 on the Japanese scale struck the Chuetsu region of Niigata Prefecture, in which Ojiya is located. Many lives were lost, and people's livelihoods and communities suffered disruption.

Ever since that day, the city has believed in a brighter future, and moved steadfastly toward reconstruction. Importance is also placed on passing on the experiences to the next generation, and on the treasures discovered and the connections forged in the region during the process of rebuilding. We will continue to move forward with the aim of enabling every citizen to prosper and becoming a city in which that prosperity is sustained.

EVENT CALENDAR

- 4月 April**
船岡公園桜まつり
信濃川河岸段丘ウォーク
- 5月 May**
牛の角突き初場所
(小千谷闘牛場、11月まで月1回開催)
- 6月 June**
春のバラ観賞会
- 7月 July**
二荒神社祭礼
- 8月 August**
おぢやまつり
- 9月 September**
片貝まつり
- 10月 October**
おぢや健康福祉まつり
小千谷トリム・ウォーキング大会
錦鯉品評会
秋のバラ観賞会
- 11月 November**
小千谷市展
牛の角突き千秋楽
- 1月 January**
さいの神
- 2月 February**
山谷・坪野ほんやら洞まつり
おぢや風船一揆

直径800m!

四尺玉の発祥 片貝花火

片貝花火は見る花火ではなく、自分たちが打ち上げる花火。成人を祝う花火を奉納し打ち上げることで、大人の仲間入りを果たします。

毎年9月8日～10日に行われる片貝まつりは浅原神社の秋季例大祭で、花火は神社への奉納を意味します。世界最大級の「四尺玉」のほか、成人や還暦を祝う花火などさまざまな思いを込めた奉納花火が打ち上がり、会場は熱気にあふれます。

動画も見る!

Katakai fireworks

The Katakai festival takes place on September 8-10 each year. It is the annual autumn festival for the Asahara Shrine, and the fireworks are offerings to the shrine. Besides the Yonshakudama, which are among the largest fireworks in the world, various other fireworks are launched as offerings. They include fireworks to celebrate coming of age and kanreki (turning 60 years old), and the venue is filled with excitement.

動画も見る!

白と光の祭典 おぢや風船一揆

雪原にカラフルな熱気球がいくつも浮かぶ、冬の風物詩。2月下旬に2日間にわたって開催されます。初日の夜には、ろうそくの火を灯した雪灯籠の置かれた雪原で、パーナーで灯された気球と上空に打ち上がる花火による、幻想的な世界が楽しめます。

迫力のあるパーナー音とともに、巨大な気球が浮かびあがる瞬間は毎年最高に盛り上がりがあります。試乗体験もあるので空からの眺めも楽しんでください!

越後風船共和国代表 金子修一さん (左) チーム KOBaC 浅田義和さん (右)

Ojiya balloon festival

Numerous colorful hot-air balloons float above snow-covered fields as though in a winter fairytale during this event, which is held for two days at the end of February. On the first night, the snowy field is decorated with hanging snow lanterns containing candles. The burners of the balloons are lit and fireworks are launched, enabling you to enjoy a magical world.

泳ぐ宝石 錦鯉

今や世界中に「錦鯉ファン」がいることを嬉しく思います。見た目や泳ぎの美しさだけでなく、人懐っこさも魅力です。

錦鯉が出現したのは約200年前。もともと食用だった鯉が突然変異したのが始まりといわれています。その後、研究と改良を重ね、国内や海外でも高い評価を得るまでの見事な鑑賞魚になりました。現在、小千谷は錦鯉の産地として全国的に有名です。

動画も見る!

国指定重要無形民俗文化財 牛の角突き

1トンの牛を引き離す勢子の技と勇気に注目! 牛対牛、牛対勢子、2つの見どころ! これが小千谷の角突きだ!

小千谷闘牛 実況・解説者 木島 良さん

Bullfighting

The sight of two huge bulls crashing into each other as handlers called seko supervise the battle with chants of "Yoshita!" is an impressive one to see. The bullfighting was even described in the Edo-period novel Nansou Satomi Hakkenden (Eight Dog Chronicles), and has been continued as a traditional local ritual for many years. The skill and courage of the seko as they pull the excited bulls apart are also incredible to watch.

動画も見る!

おぢや 定宝 じまん

小千谷の「輝く宝」をご紹介します! その輝きを持続させている方に、魅力を伺いました

Nishikigoi

Nishikigoi (colored carp) first appeared around 200 years ago. It is said that they emerged as a result of a mutation in carp that were bred for food. Research and improvements followed, and they soon became highly-sought-after ornamental fish, winning acclaim in both Japan and overseas. Nowadays, Ojiya is well known as a Nishikigoi breeding area.

寛蔵 浦川養鯉場 川上 剛さん(左) 川上 友貴さん(右)

勝負を仕切る勢子の「ヨシター」という掛け声が響き、巨大な牛がぶつかり合う様子は迫力満点。江戸時代の小説「南総里見八犬伝」にも記述があり、地域の伝統行事として長年守り継がれてきました。興奮した牛を引き離す勢子の技や勇姿も見応えがあります。



船岡公園の桜
Cherry blossoms in Funaoka Park
毎年桜まつりを開催、夜桜も楽しめます



山本山高原の菜の花
Rape flowers on Yamamotoyama Kogen
ゴールデンウィークの頃から見頃を迎えます
※山本山高原の菜の花とひまわりは、隔年で開花します。

春
Spring



外之沢の棚田
Terraced rice fields in Sodenosawa
岩沢地区に位置する棚田。収穫前は黄金色に輝きます

秋
Autumn



山本山高原のそば畑
Soba fields on Yamamotoyama Kogen
秋の新そばの季節を前に、9月中旬～下旬に花を咲かせます

小千谷の魅力をInstagramで発信中!

公式アカウント@ojiyacity_koho

みなさんもぜひ、「#おぢフォト」を付けて投稿してください。



山本山の雲海と日の出
Sea of clouds and sunrise in Yamamotoyama
気候条件が揃ったときに見られる幻想的な光景です

夏
Summer



山本山高原のひまわり畑
Field of sunflowers on Yamamotoyama Kogen
1.5ヘクタールの畑に約30万本のひまわりが咲き誇ります

冬
Winter



池ヶ原のはさ木
Hasagi※ in Ikegahara
※Hasagi are trees for drying rice.
田んぼの雪景色。小千谷の冬の自然風景の代表的なスポット

おぢやの四季彩
The four seasons in Ojiya
雪国・中山間地ならではの自然風景
鮮やかな四季が小千谷を彩ります



動画も見る!
QR code

市民が作る祭りの華
からくり万灯

8月下旬に3日間にわたって盛大に開催される「おぢやまつり」。その見どころの1つが、町内会・市民団体が工夫を凝らして作る「からくり万灯」です。個性豊かな約20台もの巨大な万灯が、夏の夜を鮮やかに照らしながら、お囃子の音色や威勢のいい掛け声とともに、街中をパレードします。



本町町内会 会長
佐藤 正機さん

なぜ「からくり」かと言いつつ、万灯の一部が動く仕掛けだから！町内で団結し、祭りに向けて毎年制作します。



Karakuri float lantern parade

The grand Ojiya Festival lasts for three days in late August. One of the must-sees is the karakuri float lantern parade, which features big figures made by the local residents' associations and citizens' groups. There are around 20 massive lanterns, each of which has an individual look, and as they illuminate the summer night sky with color, lanterns are paraded through the streets to the accompaniment of traditional music and lively cheering.



小千谷の風土で育てるこの麻織物は、昔から評価が高く、將軍への献上品とされてきた逸品です。

小千谷織物同業協同組合
理事長 杉山 成基さん

Ojiya-chijimi

The history of hemp fabric in Ojiya began around 1,200 years ago, and Ojiya-chijimi first emerged about 350 years ago during the Edo period. Its distinctive feature is its coolness and texture, which results from creases called shibo that are formed by spinning the thread tightly during the weaving process. The craft has been designated as an Important Intangible Cultural Property by the Japanese government and as an Intangible Cultural Heritage by UNESCO. The finished fabric is laid out on the snow to bleach it.



美と伝統を紡ぐ
小千谷縮

約1,200年前からこの地では麻織物の文化が息づき、「小千谷縮」が生まれたのは約350年前の江戸期です。緯糸に強い撚りをかけ「しぼ」というシワを出すことで生まれる涼感と風合いが特徴です。その工芸技術は、国の重要無形文化財に指定され、ユネスコの無形文化遺産にも登録されています。織り上げた生地を白くするため、雪の上にさらします。



へぎそば

織物の糊付けにつかう海藻の布海苔をつなぎに使用した、織物のまちならではの「そば」。「へぎ」と呼ばれる四角い板状の器に一口程度に小分けし、丸めて盛り付けて提供します。なめらかな喉越しとコシの強さが特徴で、全国のそば通から愛されています。

Hegisoba

This is a type of soba noodles unique to a textile town. Seaweed called funori for gluing fabric is used as a binding agent. Small portions of about a single mouthful each are arranged on a square, board-like dish called a hegi when they are served. They are satisfying to swallow and have a firm texture, and are loved by soba connoisseurs from all over Japan.

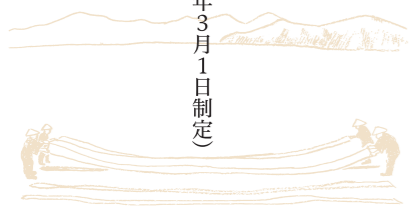
まちづくりの土台 **市民憲章**

美しい山河にめぐまれ、深い雪におおわれるこの風土に生きた先人は、やさしく忍耐強い気風と、おらかな雪国の文化と、独自の産業を育ててきました。これをうけつぐわたくしたち市民は、次の目標をかげ、さらに光ある明日をめざして進みます。

みんなで「わがまち小千谷」を育てましょう。

雪にくじけぬ、たくましいまちに。
いたわりと真心のあふれるまちに。
健康で、文化の香り豊かなまちに。
はたらく喜びにみちた産業のまちに。

(昭和55年3月1日制定)



小千谷市の 将来像

小千谷市民のねがい

小千谷市では、市民憲章「小千谷市民のねがい」を基本理念に、まちづくりの指針となる「第五次小千谷市総合計画」を策定しました。目指す都市像として、「ひと・技・自然」暮らし実感 地域の宝が輝くまちをおぢや」を掲げ、6つの基本目標を推進しています。

The city of Ojiya has established a citizens' charter called "The Wishes of Ojiya Citizens" as its core philosophy, as well as the "5th Comprehensive Plan for the City of Ojiya" which serves as a set of guidelines for city planning. It has declared its vision of "a city in which residents feel close to people, craftsmanship, and nature, and in which local treasures shine," and based on this vision, is pursuing six basic goals.

将来像の実現に向けて **第五次小千谷市総合計画**

都市像 「～ひと・技・自然～」
暮らし実感 地域の宝が輝くまち おぢや

「市民のねがい」をもとに、震災を乗り越えた経験や豊富な自然と誇れる技術(産業)を活かしながら、市民一人ひとりが輝き、持続する都市を目指すものです。

都市像の実現のために推進 **6つの基本目標**

- 1 人を育み文化の香るまちづくり
- 2 子育てにやさしく健康長寿で支えあうまちづくり
- 3 創造性と活力あふれる産業のまちづくり
- 4 魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり
- 5 自然を活かした調和と安心のまちづくり
- 6 ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり



おぢや 施設ガイド

Ojiya facility guide



泳ぐ宝石を間近で!
錦鯉の里
Nishikigoi no sato

錦鯉の泳ぐ姿をいつでも間近で鑑賞できる日本で唯一の錦鯉ミュージアム。日本庭園や屋内の鑑賞池で、約20種約300尾の錦鯉が美しい泳ぎを見せます。錦鯉の歴史に関する資料展示もあります。

観光、文化、スポーツの主要施設をご紹介。知って、使って、暮らしを充実させましょう!



コンパクトで利用しやすい!
市民学習センター 楽集館 Gakusyukan

文化の振興、生涯学習を推進する施設です。100人収容のホール、展示室、6つの学習室、創作活動室を備えており、ミニコンサートやサークル等の作品展示など、幅広く利用できます。



文化イベントの発信地
市民会館 Civic Center

478人収容の大ホールや各種会議室、和室を備えた施設です。大規模な文化イベントや発表会などの催しをはじめ、会議や教室など様々な用途で市民から利用されています。



学習と交流の拠点
市民の家・小千谷信濃川水力発電館 おぢや～る Ojiya-ru

市民の憩いの場として、また電気のふるさと信濃川を学習できる施設として2016年オープン。遊び・キャンプ・合宿など多様な利用が可能で、学習・交流の拠点として活躍中です。



屋外スポーツならココ!
白山運動公園 Hakusan Sports Park

野球場、テニスコート、陸上競技場、多目的広場、サイクリングロード、児童遊園などを備える自然豊かな運動公園です。冬季にはクロスカントリースキーも楽しめます。



スポーツで健康づくり
総合体育館 General Gymnasium

2つの多目的アリーナ、武道場、軽運動場、トレーニングルーム、幼児用のプレイルームなど多彩な設備を備えた総合スポーツ施設です。隣には市民プールもあります。



湯ったりリフレッシュ!
湯どころ ちぢみの里 Chijimi no sato

道の駅に併設された日帰り温泉施設で、ややぬるめのトロリとした泉質が特徴です。和風の「緋の湯」と洋風の「縮の湯」があり、男女週替わりで楽しめます。お食事処もあります。

To make us a city in which people can continue to live with peace of mind, it is vital for each and every citizen to participate actively in society and for local vitality to be maintained. With the population aging and fewer babies being born, we will endeavor to create an environment in which it is easy to bear and raise children and improve support for childrearing. And with the aim of extending healthy lifespan, the city will expand systems for health promotion in cooperation with relevant organizations and parties in the region. We will create a city in which all citizens, even if they have disabilities, respect and assist each other, and are able to live together with peace of mind.

安心して暮らし続けられるまちの実現には、市民一人ひとりが健康で積極的に社会参加し、地域の元気を維持することが大切です。
少子高齢化が進む中、子どもを産み育てやすい環境の整備と子育て支援の充実に努めるとともに、健康寿命を伸ばしていくために、地域の関係機関や団体と連携して、健康づくり体制の充実を図ります。障がいの有無に関わらず、市民が相互に尊重し支えあい、共に安心して暮らせるまちづくりを推進します。

基本目標 2

子育てにやさしく 健康長寿で

えあうまちづくり
Creating a city in which it is easy to raise children
and where people support each other to enjoy
long and healthy lives



子育て環境の充実

誰もが安心して子どもを産み育てられる環境を整備します。子育てと仕事の両立を支援するため、多様な保育サービスや相談窓口など子育て支援の充実に努めます。

子育て支援センター わんパーク



RUN伴



JA新潟厚生連 小千谷総合病院



おぢや健康こいこいポイント事業

支えあう福祉社会づくり

障がいのある方や高齢者が、安心して日常生活を送り、社会参加できるよう総合的に支援します。生活困窮者の自立支援、就労支援の充実に努めます。

医療体制の充実

医療機関と連携し、地域医療体制や検診などの予防体制を充実させます。市民がよりよい医療を受けられる環境を整備するため、病院の運営を支援します。

健康づくりの推進

生涯を通じた健やかな体づくりのため、生活習慣や食生活の改善を図り、健康づくり運動を推進します。また、市民の心の健康づくりと、心の病気の正しい理解の促進に努めます。



小千谷小学校 開校150年記念式典(平成29年)

実は日本最初の
公立小学校なんです!

学校教育の充実

「おぢやっ子教育プラン」を策定し、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成する取組を推進します。安心して教育が受けられる環境を確保するため、施設の計画的な整備、保護者の負担の軽減を図る支援を行います。

With the social environment changing, we will endeavor to improve education to enable everyone to develop their own characters and enjoy fulfilling lives. The city will therefore offer high-quality education, including for children with special needs, that reflects local characteristics, and will improve educational infrastructure. In addition, we will jointly protect and nurture local culture and arts with citizens, and provide numerous opportunities to come into contact with culture and the arts. The city will also strive to educate people on the advantages of engaging in sport throughout their lives, and take measures to enhance the level of competitiveness by, for example, training instructors.

社会環境が変化する中、誰もが自己の人格を磨き、心豊かな暮らしを送ることができるよう、教育の充実を図ります。地域の特性に配慮した質の高い教育や特別支援の充実、そして教育環境の整備を推進します。
地域の文化・芸術を市民と協働で守り育てるとともに、多くの文化・芸術に触れる機会を提供します。また、生涯スポーツの啓発にも取り組むとともに、指導者の養成など競技力の水準を高めるための整備を図ります。



トップアスリートサポート事業

スポーツの振興

生涯スポーツの推進と体育施設の計画的な整備を進めます。学校、スポーツ協会、各スポーツ団体が相互に連携し、競技者のレベルアップと指導者の育成を行います。



高校生による書道パフォーマンス

文化・文化財の振興

先人から受け継いだ文化財や地域文化を継承します。質の高い文化と芸術に触れる機会を提供し、市民による新たな創造や工夫につながる地域づくりに努めます。



サークル活動

生涯学習の推進

いつでも、どこでも学びあい、その成果を適切に生かすことができる社会の実現を目指し、生涯学習事業の充実と推進体制づくりに努めます。また、青少年育成事業の充実と体制の強化を推進します。

基本目標 1

人を 云々み Creating a city in which people are nurtured and culture is flourished

文化の香るまちづくり

都市空間の創出

中心市街地の活性化と、その周辺地域とをつなぐバス路線の見直しなど公共交通機関の利便性向上に努めます。緑地や防災機能を有する公園の整備を行い、快適な居住環境を創出します。



To create urban spaces that are convenient and easy to live in, we will endeavor to expand the public-transportation network and improve housing. The city will aim to revitalize the downtown area by making effective use of the former Ojiya General Hospital site after taking into account the needs of citizens and administrative issues. And with the goal of establishing a pleasant and safe lifestyle infrastructure, we will build roads and infrastructure for city gas and water supply and sewerage in order to ensure stable supplies. The city will also push forward with urban planning and conduct surveys of national land to ensure that land is used strategically and efficiently and that social infrastructure is improved.



鴻巣産業団地の開発

土地利用の推進

本市特有の自然や景観を活かした、個性的で魅力ある都市空間を創出するため、道路の整備など、都市計画を着実に推進するとともに、計画的な国土調査を実施します。



新浄水場整備

快適な生活基盤の整備

交通の利便性を高める道路網、自然と共生した河川の整備を進めるとともに、都市ガス・上下水道の安定供給に努め、快適で魅力ある都市空間の創出に努めます。

基本目標 4

魅力ある都市空間 暮らしやすいまちづくり 創出と

Creating a city that's easy to live in and features attractive urban spaces

便利で住みよい都市空間を創出するため、公共交通網や居住環境の整備に努めます。旧小千谷総合病院跡地を、市民ニーズや行政課題を踏まえて有効活用し、中心市街地活性化の実現を目指します。

快適で安全な生活基盤を構築するため、道路、都市ガス、上下水道などの整備や安定供給対策を進めます。計画的かつ効率的な土地利用と社会資本整備を図るため、都市計画の推進に努めるとともに、国土調査を進めます。

In the area of manufacturing, the city will be working with relevant organizations as well as securing and developing human resources for the future to strengthen our competitiveness in both domestic and international markets. We will support traditional industries such as Ojiya-chijimi by focusing on PR activities and the expansion of sale channels, thereby insuring that the techniques of these unique local industries will be passed on to the next generation and that they remain on a sound financial footing. Furthermore, the city will support the development of lively shopping districts, which play a major role as centers for community life, and also promote the establishment of a strong agricultural sector that gives farmers hope for the future and creates dynamic rural environments.



小千谷うまいもの祭

商工業の振興

後継者の育成・起業・開業する新規事業者の支援に努め、小千谷産品を中心とした販路拡大を支援します。商店街への支援、企業誘致の推進など、活力あるまちづくりを目指します。



おぢやしごと未来塾

就業機会の確保

市内への就業を促進するために関係機関と連携し、就業先の確保、労働環境の整備を進めます。将来の小千谷を担う子どもが本市の産業に触れ、親しむ機会の充実に努めます。



錦鯉品評会

地域特性を活かした産業の育成

地域の特性や資源を活かしたアグリビジネス、6次産業化、異業種連携による新規事業化を推進します。錦鯉産業では高い芸術性をPRし、新たな販路の拡大に努めます。



稲刈り

農林業の振興

競争力を強化するため、農業生産基盤を整備し、高付加価値化や販路拡大を支援します。担い手の育成、地域に合った営農体制を推進し、農村環境の維持を図ります。

基本目標 3

創造性と活力あふれる 産業のまちづくり

Creating a city filled with creative and dynamic industries

ものづくりにおいては、国内外を市場とした中での競争力強化を図るため、関係機関と連携し、将来を担う人材の確保と育成を進めます。小千谷縮に代表される伝統産業では、PR活動や販路拡大に注力し、地域ならではの産業として技術継承と経営基盤の安定化を支援します。

地域の生活の場として大きな役割を担う商店街の賑わいの創出を支援し、担い手が希望を持てる強い農業と活力ある農村環境づくりを推進します。



観光資源の活用と誘客推進

史跡・文化や小千谷縮、錦鯉、牛の角突きなどの観光資源、祭りや伝統行事を生かして誘客を推進します。周辺自治体とも連携した効果的な情報発信を行います。



市民協働と地域づくり

次世代を担う若者のまちづくりへの参画を促進し、地域活動を担う人材や団体の育成を推進します。地域資源を生かし、地域の活性化を目指す地域団体などを支援します。



交流・移住・定住の推進

U・Iターンや起業など、本市への移住・定住を促進する情報発信や相談体制の充実に努めます。都市間と地域間の交流人口拡大につながる活動や、多様な国際交流活動を支援します。

With the aim of becoming a city that citizens feel proud of and want to live in for the long term, we will actively provide support to people who have been struck by the charms of the city and want to move here or make it their permanent home. The city will also increase the number of visitors from Japan's urban centers and from overseas. Exchanges with other cities across the country and community activities organized independently by citizens, which began as a result of the Chuetsu earthquake, will be stepped up further as city-planning initiatives conducted jointly with citizens. Furthermore, we will communicate the attractions of our unique city, which include its natural beauty, distinctive traditional culture, and tourism resources, to captivate tourists and expand the population inflow.

市民が誇れる暮らし続けたいまちを目指し、本市に魅力を感じた人の移住・定住を積極的に支援するとともに、都市部や海外との交流人口の拡大を図ります。
中越大震災を契機とした全国の都市との交流や市民の自発的な地域活動は、市民協働によるまちづくりとして、さらに活発になっていきます。豊かな自然・地域固有の伝統文化・観光資源など、個性豊かな市の魅力を国内外に発信し、観光客の誘致と交流人口の拡大につなげます。

基本目標 6

暮らし続けたいまちづくり
ふれあい、にぎわい、
暮らし続けたいまちづくり
暮らし続けたいまちづくり

Creating a city of interaction and excitement in which people want to live long term



総合防災訓練

安全な市民生活の確保

市民一人ひとりの防災・減災、交通安全、防犯への意識や知識を高め、地域団体や関係機関との連携の強化を図ります。医療機関との連携や消防団の効率化など消防・救急体制を充実させます。

Learning lessons from the Chuetsu earthquake and the accident at the Tokyo Electric Power's Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant, we will endeavor to improve and strengthen our disaster-prevention systems for ensuring that disasters, which have become more frequent and diverse in recent years, can be responded to swiftly. Working with relevant organizations, the city will raise awareness concerning road safety and crime prevention in order to ensure that citizens can live safely. And to preserve the natural environment and energy resources for the next generation, we will strive to establish a recycling-based society. The city will also create living environments in which we can coexist with snow in the winter and live with peace of mind, and promote PR campaigns through the utilization of snow.

中越大震災の経験や東京電力福島第一原子力発電所の事故の教訓を踏まえ、防災体制の強化と、近年、頻発・多様化する災害に迅速に対応できるような防災体制の充実に努めます。関係機関と連携し、交通安全や防犯の啓発を行い、安全な市民生活を確保します。
自然環境や資源エネルギーを次世代に引き継ぐため、循環型社会を目指します。冬場は雪と共生し、安心して暮らせる生活環境を整備するとともに、雪の利活用による本市のPRを行います。



小千谷信濃川水力発電館「おぢゃ〜る」

自然と共生する循環型社会の推進

地域の自然環境と共生し、省エネルギーの促進や新エネルギーの導入に努め、持続可能なまちづくりを推進します。資源リサイクルを推進し、循環型社会の構築に努めます。



暮らしやすい雪国生活の推進

除雪体制の整備と道路構造の改善、住宅の除雪作業の支援策の充実に努め、冬期間の快適で安全な生活を推進します。雪を活用したイベントの開催を通じて本市のPRを進めます。



山谷・坪野ほんやら洞まつり

基本目標 5

自然を活かした
調和と安心のまちづくり
Creating a city in which nature is harnessed to bring harmony and peace of mind

おぢやに残る史跡

Historical sites in Oiya

戊辰戦争の転機 小千谷談判の決裂

慶応4年(1868年)、新政府軍(西軍)が反抗勢力を制圧せんと幕府領だった小千谷に迫るなか、長岡藩家老・河井繼之助は抗戦でも恭順でもなく「武装中立」を主張します。繼之助は小千谷の西軍本陣に赴き、慈眼寺にて土佐藩士・岩村精一郎との会談に臨みます。

非戦を訴え、西軍の進行停止を訴えましたが、願いは聞き入れられず、会談は決裂。繼之助は開戦を決意し、北越戊辰戦争へと突入します。

会談が行われた慈眼寺の一室は「会見の処」として公開され、当時の様子を偲ぶことができます。



河井・岩村会見の処【市指定文化財】



割烹 東忠 本館【国登録有形文化財】

河井繼之助が会談決裂後に立ち寄り、昼食をとったとも言われています。



木喰上人作 三十三観音他二像【県指定文化財】

地元に寄り添い、愛される微笑みの観音像

大きく孤をえがく目、ふくよかな頬、深い笑みをたたえた口もと……。小栗山地区の木喰観音堂の仏像は「微笑仏」と呼ばれ、長く愛されてきました。

この仏像は江戸時代後期の遊行僧・木喰上人が享和3年(1803年)小千谷に滞在し、彫り残したものです。木喰観音堂には、三十三体の観音像と行基菩薩像、大黒天像が奉納されており、毎月17日にご開帳が行われます。

名誉市民



経済・文化・スポーツ界の重鎮

金子 鋭

明治33年生まれ/昭和57年逝去(決定年月日 昭和44年11月18日)
富士銀行頭取、同行会長、プロ野球コミッショナーなどを歴任し、日本の経済・文化・スポーツの発展に寄与しました。白山運動公園内の野球場近くには、金子氏の胸像が建立されています。



森林経営学の第一人者

佐藤 弥太郎

明治22年生まれ/昭和46年逝去(決定年月日 昭和44年11月18日)
東京帝国大学農科大学林学科を卒業。森の天然更新技術に関する調査・研究などを行い、昭和の森林経営学を牽引しました。京都帝国大学では教授、農学部長に就任。



偉大な詩人、英文学者

西脇 順三郎

明治27年生まれ/昭和57年逝去(決定年月日 昭和39年7月28日)
詩人・英文学者として多数の著作を発表。詩集「Ambarvalia」や「旅人かへらず」などの作品で、現代詩壇に大きな影響を与えました。小千谷市立図書館内には「西脇順三郎記念室」が開設されています。



新潟県の発展に貢献した実業家

西脇 濟三郎

明治13年生まれ/昭和37年逝去(決定年月日 昭和39年7月28日)
西脇銀行を創設したほか、新潟県農工銀行、太陽生命社長などを歴任。公共事業に巨額の寄附を行い、さらに育英資金を出資して人材の養成に尽力するなど、県内の産業・教育の発展に寄与しました。

おぢやのあゆみ

Four years of events

平成 27年 2015

- 1月18日 元小千谷市長・元小千谷市議会議員の関広一さん逝去
- 2月25日 西脇正久さんの「小千谷を描く」が市報連載500回に到達
- 5月8日 J・R 東日本と信濃川発電所の水利権更新に関する覚書を交換
- 5月12日 市議会議員に久保田久米さん、副議長に田中淳さんが就任
- 6月2日 「小千谷市と新潟大学との連携に関する協定」を締結
- 7月4日 『おぢや(こい)商品券』を発行
- 7月14日 わんパーク来館者30万人達成セレモニー
- 9月25日 移住定住交流ポータルサイト「おぢやにススム」開設
- 10月18日 小千谷市総合防災訓練
- 10月23日 長岡小千谷「錦鯉発祥の地」活性化推進協議会を設置
- 11月25日 東小千谷小学校統合90周年記念式典
- 11月30日 市民の家閉館

平成 28年 2016

- 2月1日 公益社団法人新潟県宅地建物取引業協会と「小千谷空き家情報バンク」制度の運用に関する協定」を締結
- 2月4日 第五次小千谷市総合計画 前期基本計画策定
- 3月24日 5つの社会福祉法人と「災害時における福祉避難所の設置及び管理運営に関する協定」を締結
- 3月28日 行政改革大綱改訂、行政改革実施計画(平成28年度〜30年度)策定
- 4月16日 遠藤利明東京オリンピック・パラリンピック担当大臣(当時)講演会
- 4月25日 熊本地震被災地へ職員派遣(5月17日に2回目、6月3日に3回目の派遣)
- 6月13日 岩手県久慈市と「災害時における相互応援に関する協定」を締結
- 6月29日 市役所に錦鯉鑑賞池完成、放流セレモニー
- 7月21日 市民の家・小千谷信濃川水力発電館「おぢや(こい)オープン」
- 9月20日 台風10号被災地の岩手県久慈市へ職員派遣
- 10月16日 クラインガルテンふれあいの里10周年記念式典
- 10月23日 そなえ館開館5周年記念シンポジウム
- 11月14日 一般国道117号千谷バイパス開通式
- 11月17日 そなえ館来館者10万人記念セレモニー
- 11月19日 「S」飯山線ロマン号運行(〜20日)
- 12月1日 錦鯉がデザインされた「マンホールカード」の配布開始

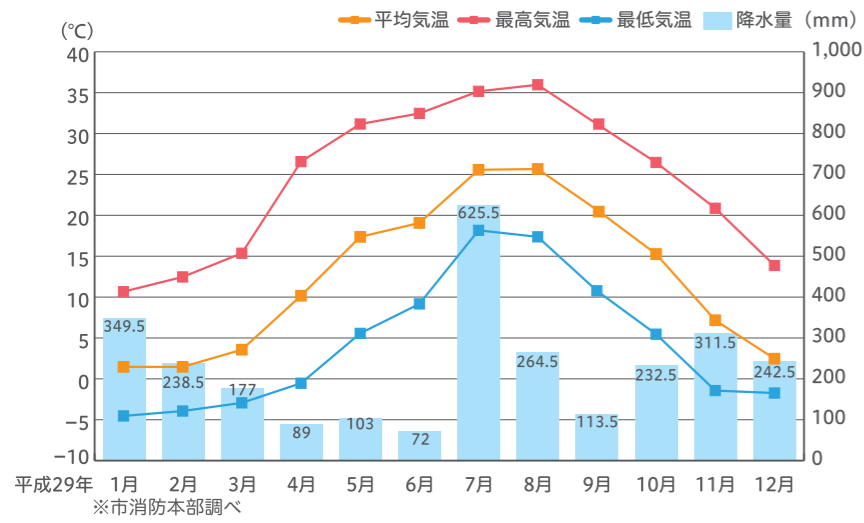
平成 29年 2017

- 3月12日 原子力防災訓練
- 3月14日 「雪の恵みを活かした稲作・養蚕システム」が日本農業遺産第1号に認定
- 3月16日 福島県塩原村と「災害時における相互応援に関する協定」を締結
- 3月20日 おぢや(こい)来館者5万人達成
- 3月31日 真人住民センター閉館、真人ふれあい交流館に機能統合
- 4月1日 J・A新潟厚生連小千谷総合病院開院循環バス運行開始
- 4月23日 そなえ館がリニューアルオープン
- 5月5日 錦鯉が「県の鑑賞魚」に指定、錦鯉の里入口に指定記念碑建立
- 5月10日 市議会議員に田中淳さん、副議長に山賀一雄さんが就任
- 5月13日 錦鯉の里入館者100万人達成
- 7月18日 豪雨災害対策本部設置(〜10月5日)
- 9月30日 旧小千谷総合病院暫定活用開始
- 10月1日 小千谷小学校開校150周年記念式典
- 10月6日 東小千谷中学校開校70周年・東山中学校統合30周年記念式典
- 10月19日 大阪府泉佐野市と特産品相互取扱協定を締結
- 10月21日 片貝中学校創立70周年記念式典
- 10月22日 小千谷中学校創立70周年記念式典
- 10月23日 台風21号災害対策本部設置(〜24日)
- 11月17日 原子力防災訓練
- 12月1日 新潟空港に「小千谷市PRフォトスポット」設置
- 12月5日 日本郵便(株)と「郵便局のみまもりサービス」をふるさと納税の返礼品とする
- 12月23日 おぢや(こい)来館者10万人達成

平成 30年 2018

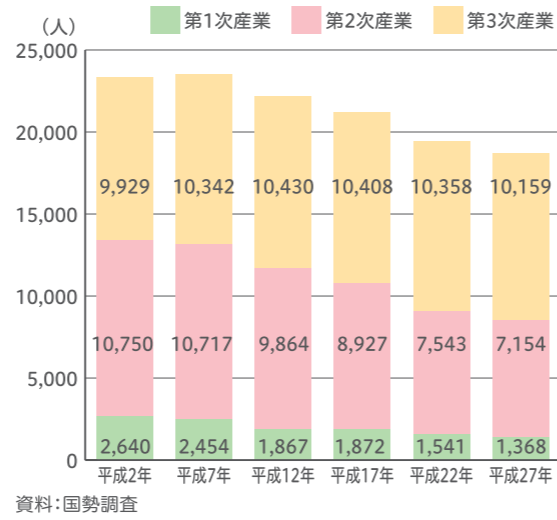
- 1月30日 雪害警戒本部設置(〜3月22日)
- 2月13日 豪雪災害対策本部に移行(〜24日)
- 3月28日 魚沼地区生コンクリート協同組合と「災害時及び火災発生時の応援業務に関する協定」を締結
- 4月1日 市民会館リニューアルオープン
- 4月25日 あいおいニッセイ同和損害保険(株)と「地方創生に関する包括連携協定」を締結
- 5月2日 「小千谷談判」第一弾 慈眼寺で市民による劇の上演
- 5月30日 損害保険ジャパン日本興亜(株)と小千谷市の「地域防災力向上に関する連携協定」を締結
- 6月23日 「小千谷談判」第二弾 市民会館で市民による劇の上演
- 6月27日 トップアスリート認定式でBMXレーシング競技の山口大地選手を認定
- 6月29日 京都市のホテルに錦鯉の水槽を展示
- 7月19日 平成30年7月豪雨被災地の岡山県倉敷市へ職員派遣(〜23日)
- 7月25日 平成30年7月豪雨被災地の岡山県総社市へ職員派遣(〜27日)
- 9月15日 北海道胆振東部地震被災地の安平町へ職員派遣(〜21日、29日、10月4日)
- 9月28日 新潟大学と「健康寿命延伸フレイルとCOVID予防医学講座」設置に係る協定を締結
- 9月30日 小千谷市総合防災訓練
- 10月6日 映画「峠 最後のサムライ」撮影(〜9日、11月14日)
- 10月24日 市内郵便局と包括的連携に関する協定を締結
- 11月19日 小千谷市長選挙で大塚昇一さんが無投票で当選(11月11日告示)
- 11月29日 大塚昇一市長が二期目就任
- 12月1日 小千谷インターチェンジ駐車場利用開始

■ 気象状況



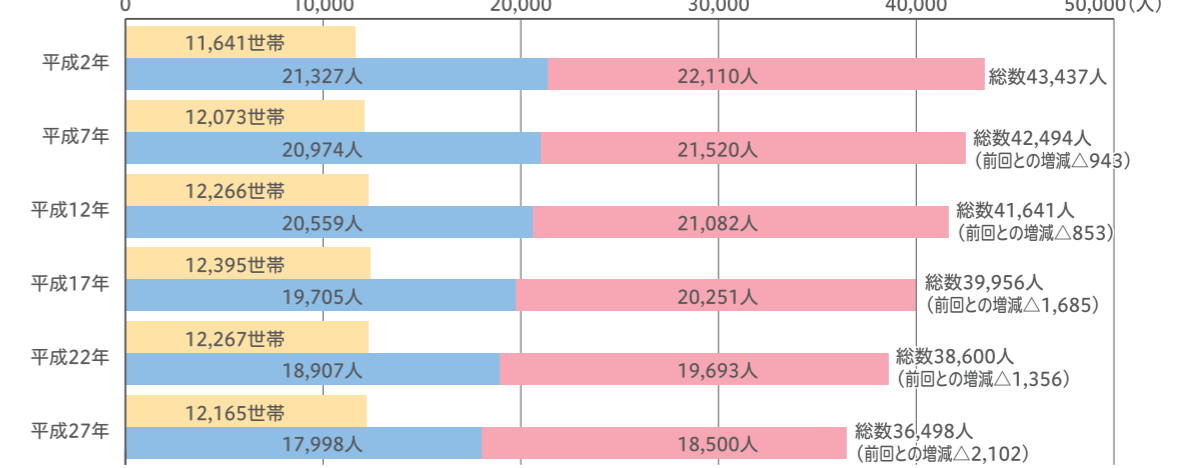
■ 産業別就業人口

各年10月1日現在



■ 人口・世帯数

各年10月1日現在



■ 降雪・積雪

年次	初雪	根雪	積雪日数	最深積雪(cm)
平成21-22年	11月 3日	12月 18日	96	182
平成22-23年	12月 15日	12月 24日	116	251
平成23-24年	11月 22日	12月 16日	152	290
平成24-25年	12月 2日	12月 9日	122	237
平成25-26年	12月 7日	12月 11日	107	110
平成26-27年	12月 5日	12月 5日	120	180
平成27-28年	12月 17日	1月 12日	65	80
平成28-29年	12月 10日	1月 11日	81	86
平成29-30年	11月 20日	12月 12日	120	220

※市消防本部調べ



■ 人口動態

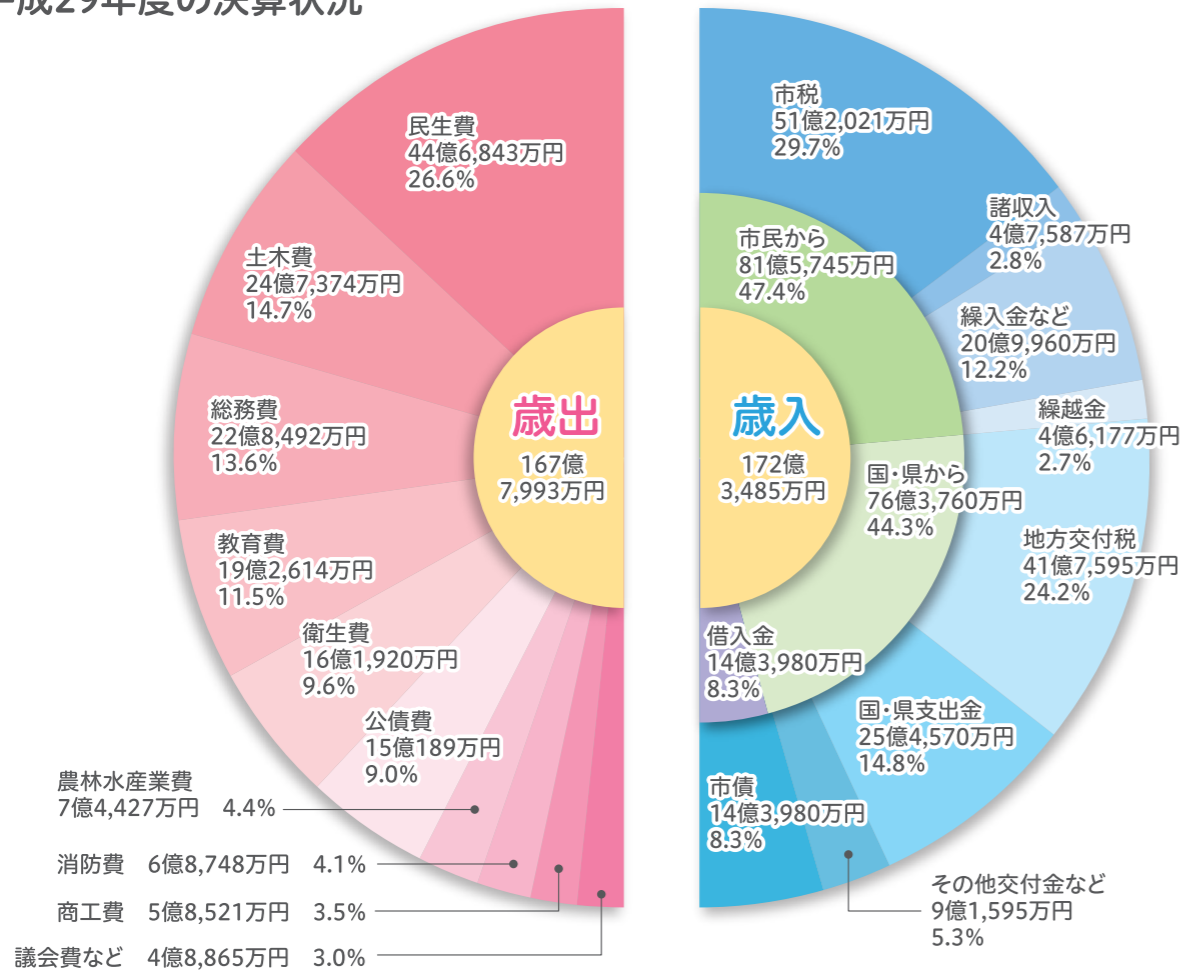
前年10月1日～当年9月30日

単位：人

区分	自然動態			社会動態			人口増減
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減	
平成21年	321	465	△144	851	975	△124	△268
平成22年	298	457	△159	794	869	△75	△234
平成23年	296	505	△209	758	923	△165	△374
平成24年	242	516	△274	735	975	△240	△514
平成25年	265	514	△249	755	974	△219	△468
平成26年	262	464	△202	702	970	△268	△470
平成27年	239	508	△269	723	925	△202	△471
平成28年	231	516	△285	694	851	△157	△442
平成29年	200	525	△325	705	900	△195	△520

資料：新潟県人口移動調査

■ 平成29年度の決算状況



■ 人口ピラミッド

平成30年9月30日現在

